

# 令和8年度からの 羽幌中学校の部活動について

## 本校の部活動の状況 (R8. 3. 31 現在)

※運動部は中体連種目

部活動 (放課後活動: 顧問教員)

女子バレーボール (他校と合同)

男子卓球

サッカー

吹奏楽

現在、本格的に地域展開へ  
検討中の部活動

留萌管内の中学校でこれほどまで地域展開が進んでいる自治体はありません。地域指導者・行政の皆様には感謝しかありません。(校長)

部活動 (地域活動: 地域指導者)

※中体連の引率は教員

陸上競技

柔道

地域クラブ (地域活動: 地域指導者)

※中体連の引率も地域指導者

軟式野球

男女バスケットボール

剣道

スキー (アルペン)

## なぜ部活動を学校から地域に展開するのか? (文科省・スポーツ庁より)

### 1 子どもたちのスポーツ・文化芸術活動機会の確保

少子化による生徒数減少により、単独校ではチームが組めない、あるいは希望する種目の部活動ができない状況が増えていることから、地域展開によって、学校の枠を超えた地域クラブでの活動が可能になり、生徒が継続して活動できる環境を整える。また、学校活動という枠組みにとらわれず、より専門的な指導や、学校にはない多様な種目に親しむ機会が可能となる。

※本町は中体連種目以外にも、ダンスや空手、ラグビーなど、多様な活動ができる環境にあります。

### 2 持続可能な学校教育の維持 (教員の働き方改革)

これまで多くの教員が担ってきたことで、学校部活動が成り立っていたが、現在はこれが大きな課題となっている。平日は活動指導後の授業準備等、休日は私的時間の確保が困難、さらには経験のない競技担当でも保護者や地域から批判を受けるなど、部活動を担当したことが原因で心身ともに疲弊している教員は少なくない。

部活動指導を地域に委ねることで、このような課題を解消しながら教員の働き方改革を推進し、本来の授業準備や生徒と向き合う時間の確保等に注力できる環境を作る必要がある。

### 3 地域社会の活性化と新たな学びの創出

学校・学年を超えた交流や、地域住民との関わりを通じて、社会性や豊かな人間関係を育む場となる。また、地域のスポーツ指導者や文化芸術の専門家が指導にあたることで、より質の高い指導を受けられるようになる。

国は令和8年度 (2026年度) からの6年間を「改革実行期間」と定めており、地域の実態に応じた本格的な移行を進める必要があります。

詳しくは別添データの「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」をご参照ください。

学校から、この②を前面に出すと、「先生方はラクしたいのか?」「地域住民だって仕事してるんだ!」という声を様々な地域において耳にします。保護者や地域の方がそのように思われるのは仕方ないのですが、部活動は本来、学校で指導しなければならないことではありません。あくまでも子どもたちの興味や得意なことを実践する場であり、教員の必須業務ではないことを前提としてご理解いただきたいです。

かつては私も部活動指導の経験があり、その大変さを十分に認識しています。現在の教員は、大変な部活動指導と並行して、授業準備に相当な時間を費やしています。今の授業は、シナリオ通りにならないのが「良い授業」とされています。つまり、子どもたちの多様な考えや個別最適な学びによって突発的な発言や活動があったりするため、その対応も見据えておく必要があるということです。そのため、綿密に授業準備をしなければならず、毎日部活動を終えて子どもたちを送り出してから取り組むには、カラダにもココロにも負担が大きすぎます。

子どもたちの豊かな学びや心の安定のためにも、教員には、授業準備や学級指導などに時間的、精神的な余裕をもって対応をする「余白」が必要です。そのため、②の内容を十分にご理解いただき、可能な範囲でご協力やご支援を賜りたいと考えております。

校長 西山 智 章